

！ おしらせ

人権擁護委員に再任
人権擁護委員に小野
弘之さん（中家村）
が4月1日付けで再任
され、法務大臣から
委嘱を受けました。
任期は4月1日から3年間です。



○ 表彰

令和4年度神奈川県青少年育成活動
推進者表彰
小田 猛さん(上延沢)
プレイパークなどの青
少年育成活動に対し、
神奈川県青少年問題
協議会から表彰されま
した。



○ 表彰

令和4年度下水道作品コンクール
小学4年生を対象に公益財団法人神
奈川県下水道公社主催のコンクール
があり、3,231点の応募の中から、
町内の小学生3名が入賞されました。

■作文の部
藤岡 駿輔さん（開成小学校）(右)
小川 千緒さん（開成小学校）(中)

■書道の部
塙 瑤子さん（開成南小学校）(左)



⚽ スポーツの結果

第1回 松田自動車学校杯争奪少
年サッカー（U-11）大会
令和5年2月11日（土・祝）に
開成町水辺スポーツ公園サッカー
場で開催された第1回松田自動車
学校杯争奪少年サッカー（U-11）
大会で、開成町少年サッカークラ
ブが優勝しました。

▼優勝した開成町少年サッカー
クラブの皆さん



🍷 文芸

開成俳句会 俳句 二月吟

左義長や歩み早目し雨模様
灰の青き茶畑に人春近し
冬の雨帰らぬ人に想い馳せ
正月の暮らしを憂へる値上げかな
枯菊の必死に咲きて色残す
啓蟄や想いを絆ぐ糸電話
初旅の「おかげ横丁」千支みくじ
春近し木目の美しき琴の調

有賀 孝子
遠藤シヅ子
大平 叔子
奥津ちわき
瀬戸 悦子
高部 久子
野田 美千
新井たか志

＼みんなが見つけた！/
＼かいせいびより

Instagramで「#かいせい
びより」を付けて投稿してくれ
た写真を紹介します。開成町の
「なんかいいな～」をみんなで
共有しよう！



@momopon52

開成町公式インス
タグラム「かいせい
びより」はこちら！



編集後記

今月号では開成町の米を
特集しました。我が家も
兼業で米作りをしていま
す。私も少し手伝ってい
ますが、機械での作業が
ほとんどとはいえ、作業
後はいつも筋肉痛に襲わ
れます。
なにげなく食べているご
飯も、農業に携わる皆さ
んの努力があつてこそ、
おいしいご飯が食べられ
る。これからも皆さんへ
の感謝を忘れず、もりも
り食べたいと思います。
(Y)

あじさいちゃん

広報の表紙や紙面に登
場するあじさいちゃんは、
町公式マスコットキャラ
クターです。
町の花であるあじさい
をモチーフにしています。



／ 令和5年度第1回 /
吉高Report



町内唯一の高校「県立吉田島高校」（通称、吉高）。
吉高生たちを、特命まちづくり情報特派員に任命し、
学校の出来事をレポートしてもらいます。

☎ 吉田島高校 ☎82-0151

／ 今月の /
特命まちづくり情報特派員

食品加工科 新3年生(右)

佐藤 大翔さん

食品加工科 新3年生(左)

永田 悠人さん



微生物利用では、食品に関
係する微生物の扱い方につい
て、実験を通して学習してい
ます。
微生物という、「病気」
や「腐る」という印象を思い
浮かべるかもしれませんが、
有用な微生物もたくさんあり
ます。有用な微生物を自然界
から見つけて育てる技術や、
培養するために必要な器具の
使い方を身につけることが
でき、とても楽しく学んで
います。
普通科高校では体験できな
いことが山盛りの食品加工科
は、今、トレンドだと思います。
(永田 悠人)



大切に育てた麹だからこそ
よりおいしいみそに



食品加工科の食品製造では、
普段よく食べている「みそ」を、
4月から10月にかけて、すべ
て自分の手で作っています。
その中で、一番印象的なのは
麹の製造です。
麹は原料の米・麦にコウジ
カビを繁殖させて作ります。
カビは繁殖すると熱を出しま
すが、自分で冷やすことがで
きません。人の手で温度調整
をしなければならぬので、
泊まりこみで管理をします。
そのため、「育てる」を感じるこ
とができます。
「食の命」についても学べ
る素敵な科です。
(佐藤 大翔)

／ さて、どっち?! /

ごみ出しクイズ

Q 発泡スチロールは、「資源
ごみ」として出せる?

A ×

解説
以前出した問題のおさらいです。
プラマークの記載があれば毎週水曜日の「プ
ラマークごみ」、なければ「もえるごみ」として
出してください。
以前は資源ごみの日に収集していましたが、
平成31年4月から分類を変更しています。

◀ 環境上下水道課 石川 翔一

2月分のもえるごみ収集量
約197t(約203t)
※ () 内は昨年2月分

詳細は町HPを
ご覧ください。

あしがかり郷通信

瀬戸屋敷 HP

ついに始まった米
国人ツアー客の受
入れ。たくさん
の地域の方々にお
手伝いいただい
ています。3月は、
小学生から70代まで老若男女問わず、ツアー客
と楽しく交流することができました。ツアー客
は、日本の「日常」を求めて来ています。今月
も多くの日程で受け入れるので、外国人との交
流に興味がある方はぜひ見学に来てみて
ください。

瀬戸屋敷 ☎84-0050